



AREA1

エリア通信



第2号 2020年10月1日発行

国際ゾンタ 26地区エリア1 エリアディレクター 松村 昌子

10月1日現在 エリア1会員数 145名

ごあいさつ

エリア1の会長始め皆様、日々大変お世話になっております。

今年も早10月に入ります。大型台風、集中豪雨、高温多湿、あっという間の秋の到来に、私達の体は全力で対応しています。日本における新型コロナウイルス感染拡大も今は小康状態ですが、第3波の予想が難しく、今できる事、今後に備える事を模索する日々です。そのような状況下でありながら、皆様のゾンシャンとしての創意工夫された活動は、奉仕への長年培った経験を生かしながらの豊かな力強い団結力(Hand to Hand)を感じました。今後益々の仲間との絆、そしてクラブ同士の交流を深めていただきたいと思います。これからも新型コロナウイルス禍や地球規模の気候変動を乗り越えながら、新しい時代の奉仕活動を構築していただければ幸甚です。地域に根差した活動、グローバルな感性、学びを引き続きよろしくお願い致します。

10月10日の「木下彰子国際ゾンタおよび国際ゾンタ財団理事就任祝賀会」のご報告を次回のエリア通信で致します。木下様の今後のご活躍から大いに学んで参りましょう。

このエリア通信が読者の皆様への希望と夢の契機になります事を確信しております。

国際ゾンタ 26地区エリア1 エリアディレクター 松村 昌子

新入会員のお知らせ

- 所属クラブ: 盛岡ゾンタクラブ
- 入会日: 2020年9月12日
- 会員氏名: 那須 和佳子様

退会会員のお知らせ

- いらっしゃいません

●仙台Iゾンタクラブ

・会長名: 才 田 いずみ ・会員数: 32名

- 活動報告 8月
 - 11日 例会は夏休み。委員会別に会合をし、会長・副会長も参加。
 - 18日 広報委員会（オンライン開催）5名参加。
 - 23日 会員委員会とアドボカシー委員会の合同 6名参加。
 - 25日 財務委員会と企画委員会と監事の合同 6名参加。
 - 9月 1日 国連・国際委員会と奉仕委員会の合同 8名参加。
 - 9月 1日 役員会 12名出席。
 - 9月 15日 9月例会。会員19名出席。26地区補正予算案、基金設立案審議。
卓話「宮城県美術館は今」
講師: 高橋直子氏
(一級建築士、「宮城県美術館の現地存続を求める県民ネットワーク」事務局)
仙台自立の家 お菓子販売協力。



9月例会での卓話風景
宮城県美術館は、ル・コルビュジェに師事した前川國男の設計で、多くの県民に愛され親しまれています。その貴重な建築を捨てての移転計画が、静かに、しかも、どんどん進められていると伺って一同驚愕しました。



●函館ゾンタクラブ

・会長名：竹 村 弘 子 ・会員数：20 名

- 活動報告 8月 5日 第3回理事会
- 8月 19日 第 555 回例会
アドボカシーについて勉強会
- 9月 2日 第4回理事会
- 9月 16日 第 556 回例会
本間明子愛基金寄付金寄贈



今年度、コロナで奉仕活動が出来ない中、青少年育成の為に本間明子愛基金から函館医師会・渡島医師会へ寄附金の贈呈を行いました。



●塩釜ゾンタクラブ

・会長名：中 野 わか子 ・会員数：4 名

- 活動報告 8月 5日 社会福祉法人あしたば福祉会
「あすなろ」へ支援金お届け
(会長、村上・伊藤会員)
- 8月29日 8月定例会
(年間活動についての話し合い)
勉強会への参加の検討
- 9月5日&26日 通年講座「ジェンダー論」受講開始
(中野会長・村上会員)
- 9月19日 9月定例会 講座受講報告
(SDGs と Goal 5 Gender Equality について考える)



8月 5日
あしたば福祉会「あすなろ」訪問
(山川施設長様との記念撮影)

- イベント 10月 17日 10月定例会・勉強会
案内 「気候変動・エネルギー問題とジェンダー」
「ジェンダー論」公開講座へ参加しての勉強会

コロナ禍にあつて、対面での例会が叶わない日々が続く中で迎えた新体制のメンバーです。新体制の始めの奉仕活動に選んだのは、クラブ創設から支援を続けてきた社会福祉法人あしたば「あすなろ」さんへの支援です。(検温・マスク・消毒等のコロナ対策)を徹底しての施設長様との面会でした。長年に渡る「あすなろ」と「塩釜ゾンタ」との関わりを学び、新メンバーとの協力体制を整えることになった貴重な機会になりました。



●札幌IIゾンタクラブ

・会長名：堀 内 万記子 ・会員数：20 名

- 活動報告 8月 5日 理事会
- 8月 19日 例会 会報 NO.23 発行
- 8月 29日 第 1 回ローズデー打ち合わせ
IRISZC と 2 クラブ合同
- 9月 9日 理事会
- 9月 16日 例会



田尾会員のお誕生日会です☆

9月例会において、会員より奉仕先の候補としてコロナの影響を受けた団体についてプレゼンがあり活発な検討がなされました。改めてコロナによる社会活動の縮小、疲弊により生活に多大な影響を受けている方々が多いと感じた次第です。

また来年3月のローズデーに向けての2クラブ合同打ち合わせもあり、市民にアピールする為の地下歩行空間の確保、市長の表敬訪問などについて打ち合わせを致しました。コロナが収束し、ローズデーアピールが出来ることを祈っております。

- 振り返り 2020年度はコロナ真っ只中、書面決議による総会からスタートいたしました。理事会は初の書面総会準備にてんやわんや、書記と会員間の郵送により書面のやり取りで、無事総会議案がすべて可決し胸をなでおろしました。しかし当面は対外的な行事は中止、延期、規模縮小です。数か月ぶりに再開いたしました例会は、この時期だからこそできること(クラブ内部の親睦強化)をと、例会閉会前の童謡の合唱、会員によるミニ卓話などを企画し、会員相互の理解を一層深めることになると考えております。個人的にこの二か月を振り返りますと、自宅での夕食、休日のTV前に陣撮っている時間、庭の過剰な手入れが増えた事です。酒匂桂子記

●盛岡ゾンタクラブ

・会長名：柴田和子 ・会員数：18名

- 活動報告
- | | | |
|-------|--------|--|
| 8月19日 | 例会一納涼会 | 例会会場にて |
| 8月26日 | 理事会 | YWPAを担当委員会で候補者を検討 |
| 9月9日 | 例会一 | 千葉会員の紹介による卓話
ウヴィ・リヒタさん(岩手県立大 教授)ードイツ人
中国・韓国・日本の比較が研究テーマで日本人とドイツ人が
統計的にジョークが少ない。日本人のユーモアの原点は「禅」
だと思ふ。日本人の視点と違い外国の漫画を使いジョークの
説明。
: YWPAの候補を検討
: クリスマス会については検討 |
| 9月30日 | 理事会 | クリスマス会を担当委員会で検討したことの検討 |

- イベント案内
- | | |
|-----|--|
| 10月 | 例年10月に予定していた「外国人による日本語スピーチコンテスト」は、
新型コロナウイルス感染拡大の為中止。 |
|-----|--|

- 振り返り 若い新人が入会し、頼もしく先輩会員も刺激を受けた。
12月のクリスマス会をどのようにするか、やるか、やらないか等賛否両論が出て、いつもい
らして下さる友人からの声をみんなで聞いてみようと思ふ声があがった。

●札幌 IRIS ゾンタクラブ

・会長名：岡部文子 ・会員数：11名

- 活動報告
- | | |
|-------|---|
| 8月3日 | 理事会 |
| 8月9日 | 移動例会9名参加
(札幌村郷土記念館見学を兼ねて)
懇親会(パークホテルガーデンにてバーベキュー) |
| 8月22日 | ローズデイ関連合同会議(札幌2、札幌IRIS) |
| 9月7日 | 理事会 |
| 9月14日 | 例会 |



コロナ禍が一目瞭然の記念写真!!いつものように楽しくがやがやと見学し、ホテルでのバーベキューも美味しくビールもはかどり、爽やかな一日でした。



●秋田ゾンタクラブ

・会長名：佐藤 康子 ・会員数：10名

- 活動報告
- | | | |
|-------|-------------------|--|
| 8月9日 | 8月例会 | 出席 7名 |
| 23日 | 第30回 ABS24H テレビ支援 | 初回から継続 |
| 9月13日 | 9月例会 | 新入会員（復帰会員）入会セレモニー
久しぶりの入会者を迎えて大いに盛り上がりました。
コロナ禍中における奉仕活動について話し合う |



- イベント案内
- | | |
|--------|--|
| 11月29日 | 主催：第25回健康セミナー 耳・鼻・喉のはなし
---- より明るい健康生活を ----
小泉耳鼻咽喉科医院 院長 小泉達朗 |
|--------|--|

●福島ゾンタクラブ

・会長名：山川 多美子 ・会員数：10名

- 活動報告
- | | |
|-------|---|
| 8月28日 | 理事会 総会及び例会 新会員 今後の活動 会計より会費納入
オンライン国際大会報告 YWPA 奨学金募集要項 他について |
| 9月18日 | 理事会 例会 今後の活動取り組み（環境問題） 作品制作
会員増強 他について アメリア・イアハート奨学金募集要項
JMK 奨学金募集要項 報告 2020-2021 国際ゾンタ 26 地区
会員名簿記載事項確認 |



いつもより広い部屋で、ソーシャルディスタンス保ちながらの久々の8月例会
マスクをかけてのワンショット！今までにはない
中々の貴重なワンショットです。

●山形ゾンタクラブ

・会長名：森 睦 ・会員数：16名

- 活動報告
- | | |
|-------|--|
| 8月8日 | 定例会 |
| 8月27日 | 理事会 |
| 9月12日 | 移動例会 卓話 演題「言葉の力 自分の人生 自分が主役」
阿部節子会員 |
| 9月24日 | 理事会 |

阿部会員は、心に残る話をしてくださり、また私たちがゾンタをとおして学び、生きていくうえでの心構えなど、語ってくれた。一つご紹介をします。

「心は歳をとらない、一生おつきあいするのは自分、世の中が変われば変わったように生きなければならぬ」等々、言葉の力で会員一人ひとりが持っている賜物を分けていただいた移動例会でした。



移動例会風景

- 振り返り
- 山形ゾンタでは、昨年来約1年ぶりで移動例会を実施。新型コロナで活動が制限されていたが、沈静化に伴い、「細心の注意を払い、まずやるのが大事」と会員の提案により飲食店での実施を計画。事前実踏で3密は十分クリアできるとの確信を得て実施。まず会員による卓話を行い「人生においては、1秒の時間も無駄にする事なく、言葉の力を信じ、仕事では頭を使い人間関係では心を使って生きる事が大切である」と語り心に響く人生の生き方を学んだ。卓話終了後、飲食しながら、会員相互の親睦を深めながら例会を行った。コロナ禍の中、山形ではゾンタ活動の新たな第一歩を踏み出した。（土屋記）